

帯広畜産大学国際コースにおける海外研修

帯広畜産大学国際コースが主催する海外研修(9月4日から9日までの6日間)に、本団体が現地協力機関としてカンボジアでの受入れと研修内容の企画・運営を行いました。帯広畜産大学から参加した学生や教員8名にとっては、カンボジア国における農業・畜産業・環境保全活動・文化や歴史等について広い知見を得る機会となりました。先ず本団体の事業地であるシェムリアップ州の育苗センターや小学校を訪問して、開発課題と解決に向けたNGOの活動について認識を深めました。また、アンコール生物多様性保護センターやアンコール遺跡群を含む広大な自然保護地区を訪れ、森林生態系がもたらす多様な機能について理解を深めました。さらに、現地農業組合の養鶏場、カンボジアGAP(Good Agricultural Practice)認定農場、食用昆虫を養殖する農家を訪問し、シェムリアップ州の農業事情を学びました。プノンペンでは、カンボジア王立農業大学(RUA)において、様々な研究開発活動を視察するとともに、最終日には成果発表会が開催されました。海外研修に参加した日本人学生は、「農業と祭り」、「発酵食品」、「森林」、「昆虫食」といった4つのテーマについて、研修で得た知見に基づき、分析結果と課題に対する解決策等を発表しました。全体ディスカッションでは、これらの4つのテーマに共通する要素として「Tradition」、「Food security」、「Community」などのキーワードが挙げられ、「Sustainability」との関わりについて議論が展開されました。

【研修スケジュール】

	日時	活動
1	9/4 (木)	・シェムリアップ国際空港着、現地集合(15:50)
2	9/5 (金)	・アンコール遺跡群を含む自然保護地区への訪問等
3	9/6 (土)	・シェムリアップ州の農山村部における事業紹介、小学校における文化交流ワークショップの開催、植林活動 ・アンコール生物多様性保護センター訪問 ・伝統食品の試食等
4	9/7 (日)	・シェムリアップ州の農業組合が経営するレストラン訪問、農業組合長との談話、Cam GAP 認定農場視察、養鶏場視察、食用昆虫の養殖場訪問 ・プノンペンへ移動
5	9/8 (月)	・トゥールスレン虐殺博物館訪問 ・カンボジア王立農業大学(RUA)訪問、学生交流・RUA 学生による研究開発活動紹介 ・RUA 畜産学部の学生によるキャンパスツアー ・グループディスカッションと成果発表に向けた準備
6	9/9 (火)	・カンボジア王立農業大学(RUA)訪問 ・日本人学生による成果発表、全体ディスカッション ・学生交流 ・プノンペン新空港へ移動、現地解散、出国(16:40)



アンコール遺跡群を含む自然保護地区



小学校における文化交流ワークショップ



小学校における植林活動



アンコール生物多様性保護センター訪問



農業組合が経営するレストランでの組合長との談話



カンボジア王立農業大学(RUA) 訪問と学生交流



Cam GAP 認定農場視察



RUA ボランティア学生による研究開発活動紹介



食用昆虫の養殖場視察



成果発表会



トゥールスレン虐殺博物館訪問



集合写真